

事業番号	09 03 15	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校費 (農業大学校改革推進事業含む)			部局	農政部		
				課・局・室	農業技術課		
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成			実施期間	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (ウ) 農業の競争力強化					

### 1 事業の概要

目指す姿	理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術を修得させるとともに、寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性を涵養し、21世紀の農業・農村を担う優れた人材を養成する。																	
現状(予算編成時)	○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、平成27年4月1日現在、農学部学生は127人となっている。 ○平成26年度卒業生は自家就農、農業法人への就農のほか、農業協同組合、農業関連企業に就職し、卒業生の多くが本県農業の振興に寄与しているが、就農率は42.7%と前年から向上している。但し、社会人を一定期間経験したのち就農を考えている学生もいる。 ○H26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、一般コースの農家実習の拡充(24日→45日)、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めている。																	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 農業改良助長法第7条の5において、農業後継者等に対し、技術及び知識を習得させるための教育を行うことと明記 農業改良助長法(国)、長野県農業大学校条例(県) 長野県食と農業農村振興計画																
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ・オープンキャンパスや高校等への訪問の実施や、新規就農相談会等へ積極的に参加し、就農意欲の高い学生確保に努め、農学部総合農学科の定員充足率を100%とする。 ・質の高い講義・実習を実施し、農学部学生の規定単位充足者率を100%とする。 ・就農に向けた支援を積極的に実施し、農学部卒業生の就農率を向上させる。(38.8%(H23)→48.0%(H28)→67.0%(H29))																	
	② 事業内容 (単位:千円)																	
	項目	実施方法	H28事業実績		H29													
			(当初)	(決算)	(当初)													
	農業大学校運営費	直接	平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の習得教育を実施(就農者6名)	49,926	45,833	50,598												
	(再掲)教育内容充実強化事業費(農業大学校改革推進事業)	直接	より実践的なカリキュラムや講師陣の充実・強化のため、大学教授等から構成する「外部講師」や農大のアドバイザーとなる「特別講師」等により実践的な講義を実施(外部講師・特別講師計13人)	5,452	5,005	5,679												
	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施(受講生37人)	6,478	5,947	6,331												
	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施(研修生延べ523人)	10,846	9,957	10,426												
	農業大学校施設整備費	直接	畜産実科・研究科の学生寮の老朽化、男女学生の部屋、風呂等の施設の不公平解消のための増改築(H28設計委託)	11,200	10,282	3,077												
			合計	78,450	72,019	70,432												
事業コスト	区	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況												
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標						
		当初予算	74,161	78,450	70,432				目標	成果	達成状況							
		補正予算		68,800					農学部卒業生就農率(%)	42.7	45		48	58.6	達成	53		
		合計(A)	74,161	147,250	70,432													
	Aの財源	一般財源	44,180	45,759	41,814	研修部	—	95.9	80	100	達成	80						
		県債		36,000		けん引免許取得率(%)												
		国庫支出金	16,553	19,964	17,644	研修部							—	97.6	85	100	達成	85
		その他	13,428	45,527	10,974	大型特殊免許取得率(%)												
	決算額(B)	69,701	72,019															
概算人件費	職員数(人)	31.00	32.00	32.00														
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	256,556	253,248	253,248														
		330,717	400,498	323,680														
目標に対する成果の状況	「農大改革」の一環として、大手農機具メーカーとの連携による再農機具の操作技術等の習得及び多彩な民間講師陣による実践的な講義などを実施した。また、改革の目玉である「実践経営者コース」の第2期生6名が卒業し、全員就職した。就農率目標を大きく上回るとともに、全員が就職した。																	

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	実践経営者コース第2期生6名全員が29年4月に就職し、地域農業の担い手として期待される。引き続き、農大改革を推進し、卒業生の就農率の向上及び農業関係免許取得のための研修充実等に取り組む。